

引き続きシリーズ  
で『京都市の橋の変遷』を特集します！

# みやこはし 京の橋しるべ 第10号

(平成28年9月発行)

## ◆ 京都市の橋の変遷 ④

前号では、度重なる水害や戦争の影響を大きく受けた、昭和初期から昭和20年代までの京の橋を紹介しました。

今号では、高度経済成長に伴うモータリゼーション化に対応するため精力的に道路が整備された、昭和30年代から昭和末期までの京の都市と橋の変遷を紹介します。

## ◆ 戦災復興と道路整備

本市では、戦後、戦災復興による都心部の交通混雑緩和や物資輸送の強化のため、数多くの道路が精力的に整備されました。今の本市の幹線道路網を形成する堀川通、五条通、御池通もこれを機に事業が進められました。この事業に合わせて整備されたものが、五条大橋（昭和34年）と御池大橋（昭和39年）になります。



↑ 五条大橋（昭和34年完成時写真）

← 御池大橋（昭和39年完成）

⇒ 昭和63年拡幅（現在の形へ）

## ◆ 都市域の拡大と基盤整備

昭和30年代後半になると、都市の均衡ある発展を目指し、洛北、山科、洛西、洛南、宇治といった都市周辺部に住宅立地や産業基盤整備が進められました。そのため、これらの地域と市街地とを結ぶ道路の整備が急務となりました。

### ◆ 西方面

西方面では、四条通、国道171号、八条通の拡幅に伴い、松尾橋（昭和47年）、久世橋※第9号で紹介（昭和47年）、桂橋（昭和58年）の拡幅や架換えが行われました。

↓ 松尾橋（昭和47年完成）

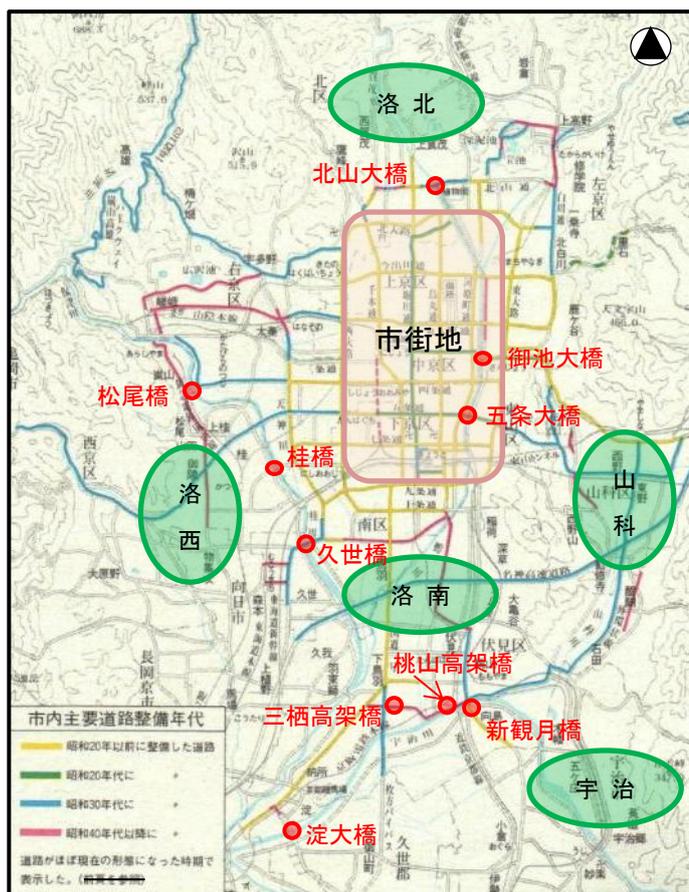


## ◆北方面

京都市街北端部の幹線道路である北山通は、市街地の北方面への拡大に伴い、良好な宅地の確保を目的として進められた土地区画整理事業も活用し、整備が進められました。その頃に完成したのが、賀茂川に架かる北山大橋（昭和37年）です。



↑北山大橋（昭和37年完成）



↑三栖高架橋（昭和45年完成）



↑桃山高架橋（昭和45年完成）

## ◆南方面(1)

南方面では、国道24号の観月橋に沿って、交通容量の増加を目的として、新観月橋（昭和50年）が架けられました。また宇治川の淀大橋もこの時期に新しくなりました（昭和49年）。

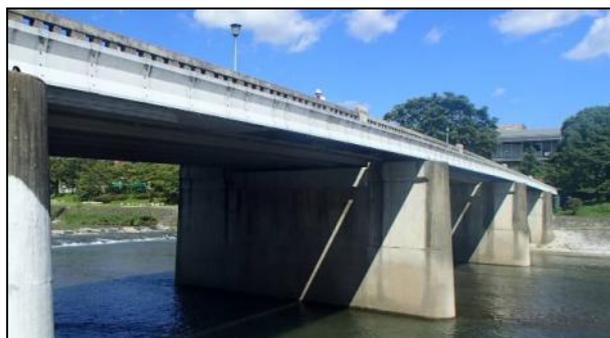
## ◆南方面(2)

山科から伏見の南部を通り、長岡京へ通じる外環状線は、本市南部地域の重要な幹線道路の役割を果たしています。山科を通る国道1号から分かれ、六地蔵を通り、下鳥羽の国道1号に接続するまでの区間は、大阪万博に合わせ、昭和45年に完成しました。この路線上に三栖高架橋と桃山高架橋が架けられました。

## 〈京の橋の紹介⑩〉

### 荒神橋（こうじんはし）

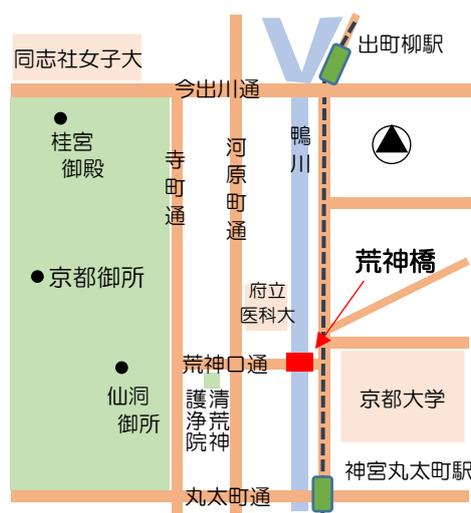
場 所：京都市上京区亀屋町 他  
 河 川 名：一級河川 鴨川  
 橋の種 類：鉄筋コンクリート橋  
 橋 長：110m  
 幅 員：10.7m  
 完 成 年：大正3年（1914年）



荒神橋は、嘉永7年（1854年）仙洞御所の火災により聖護院へ移られた孝明天皇が、焼け残った桂宮御殿へ入られるために架けられました。当時は、西本願寺の出資により擬宝珠高欄を備え、天皇が通行されるにふさわしい木橋だったといわれています。

現在のコンクリート橋構造になったのは大正3年（1914年）。桁橋※で鉄筋コンクリートが本格的に利用されたのは、荒神橋が初めてです。

その後、高欄がコンクリート製になり、歩道が拡幅され、幾度かの変遷を経て現在の形となりました。



名前の由来は、橋の西側に位置する清荒神護浄院（天台宗）。本尊は清三宝大荒神、火の神様として信仰を集めています。

学生運動が盛んだった昭和28年（1953年）には「荒神橋事件」の舞台ともなりました。

今年から荒神橋の「平成の大改修」が始まります。皆様の御協力をお願いいたします。

※第2号で橋の種類を紹介

## ◆ 京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みやこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様に「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「みっけ隊」を配信しています。

詳しくは Web で！ [京の橋しるべ](#)



& [みっけ隊 募集中](#)

